

各位

武雄・杵島地区農業指導連絡協議会
杵島農業改良普及センター

「麦作情報（第2号）」について（送付）

このことについて、下記のとおり「麦作情報（第2号）」を送付しますので、業務の参考にしてください。

この情報はホームページ

https://www.pref.saga.lg.jp/ki_ji00323270/index.html

にも随時公開しています。

杵島農業改良普及センター

検索

1. 気象概況

月	半旬	平均気温			最高気温			最低気温			降水量			日照時間		
		平年 (°C)	R1 (°C)	平年差 (°C)	平年 (°C)	R1 (°C)	平年差 (°C)	平年 (°C)	R1 (°C)	平年差 (°C)	平年 (mm)	R1 (mm)	平年比 (%)	平年 (hr)	R1 (hr)	平年比 (%)
12月	6	5.6	7.9	2.3	11.0	12.0	1.1	0.9	3.6	2.7	8.0	13.5	169%	25.1	17.2	69%
R2 1月	1	5.2	5.6	0.4	10.4	12.4	2.0	0.7	0.1	-0.6	8.1	0.0	0%	19.9	38.0	191%
	2	5.1	10.2	5.1	10.0	15.7	5.7	0.7	6.0	5.3	8.9	13.5	152%	18.4	17.8	97%
	3	4.9	6.4	1.5	9.7	10.5	0.8	0.6	2.6	2.0	9.7	0.5	5%	17.2	13.2	77%
	4	4.7	6.8	2.1	9.4	11.3	1.8	0.5	2.3	1.8	10.5	0.0	0%	17.0	10.7	63%

12月6半旬～1月4半旬の平均気温は平年より2.3 高く、特に1月2半旬は平年より5 高かった。降水量は平年比65%であったが、12月6半旬、1月2半旬にまとまって降雨が見られた。日照時間は平年比99%と平年並みであったが、1月3～4半旬は平年より少なくなっている。

2. 麦類情報田の生育状況（調査日：小麦1月20日，大麦1月21日）

品種		草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉齢 (L)	葉色 (SPAD 値)	備考
シロガネコムギ (11月23日播種)	本年値	14.0	531	5.1	42.6	<ul style="list-style-type: none"> ・草丈は平年より高い。 ・茎数は平年よりかなり多い。 ・葉齢は平年に比べ1.6葉進んでいる。 ・葉色は昨年に比べやや濃い。
	過去3カ年平均値	11.9	293	3.5	41.3	
	対比	(118%)	(181%)	(+1.6)	(+1.3)	
	農試参考値	20.2	520	5.3	-	
	農試平年比	(166%)	(135%)	(+0.8)	-	
サチホゴールデン (11月30日播種)	本年値	10.7	312	4.2	42.7	<ul style="list-style-type: none"> ・草丈は平年並み。 ・茎数は平年よりわずかに多い。 ・葉齢は平年に比べ0.4葉進んでいる。 ・葉色は昨年に比べやや薄い。
	過去3カ年平均値	10.5	296	3.8	44.6	
	対比	(102%)	(105%)	(+0.4)	(-1.9)	
	農試参考値	11.1	331	3.2	-	
	農試平年比	(146%)	(194%)	(+1.3)	-	

参考は農試作況の1月20日調査データ（播種日はシロガネコムギ：11/20、サチホゴールデン：12/10）
葉色(SPAD 値)については昨年度の値と比較している。
今年のサチホゴールデンは播種後の降雨の影響で出芽がやや遅れた。

(耕種概要)

品種	設置場所	播種期	播種量	前作	栽培様式
シロガネコムギ	武雄市橘町	11月23日	10kg/10a	大豆	畦立て4条播き (畦幅1.52m)
サチホゴールデン	白石町新明	11月30日	7kg/10a	大豆	畦立て8条播き (畦幅1.56m)

3. 生育概況

11月中下旬に播種されたほ場は出芽や生育が早く進んでおり現在5～6葉期となっており、分けつ発生が旺盛になっています。12月上旬に播種された圃場も、その後の暖冬傾向で生育は進み、現在3～4葉期となっています。暖冬傾向で経過しているため、麦の草姿が立ち上がっており、幼穂形成も早くなると見込まれることから、生育が進んだ圃場では今後の管理作業も前倒しで行うように注意してください。

4. 今後の管理

(1) 施肥 追肥時期の目安は3～4葉期となります。

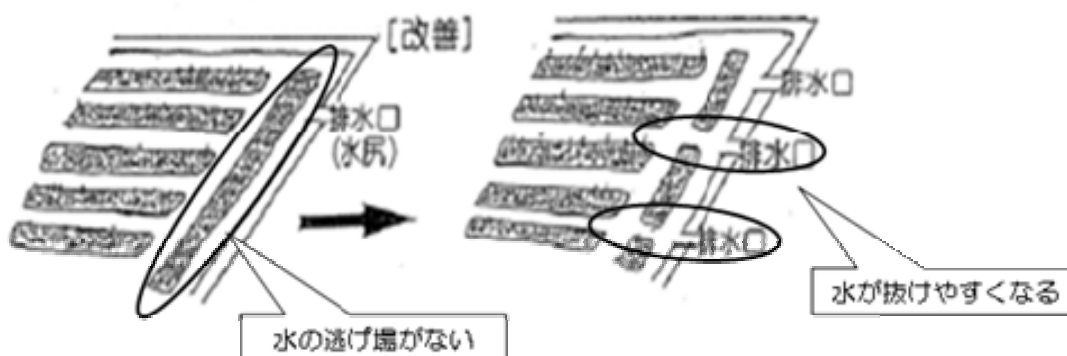
- ・12月中旬頃に播種された大麦でまだ追肥を施用していないほ場は早急に追肥を行ってください。

(2) 麦踏み<本葉3葉期以降>・土入れ<本葉5葉期以降>

- ・本年は暖冬傾向で生育スピードが速いので、草姿の立ち上がりを抑えるために麦踏みは必ず行いましょう。
- ・麦踏みは、根の伸長促進、耐寒性の増加、土入れは雑草防除、表面排水などの効果が期待されます。
- ・除草剤散布の直前や直後に麦踏み・土入れを行うと麦へのダメージや雑草の効果が低下するため、間隔をあけて作業を行ってください。
- ・土壌水分が高い時に麦踏みをする、土を固めて通気性を低下させ、根の伸長や活性を阻害します。麦踏みや土入れは、必ず圃場が乾燥した状態(畦間が白乾している状態)で実施してください。土入れは分けつの発生を抑制するため、遅まきにより生育が遅れている圃場においては土の量を調整するか、生育が進んでから実施してください。

(3) 排水対策

- ・溝を枕部分まで通すなど、明渠の整備による根腐れや湿害防止に努めてください。



- ・麦の生育期間中に弾丸暗渠を施工することも有効です。地表面に亀裂が入り、生育期間中の降雨に対して排水性が向上します。

○実施時期 1月中旬～2月中旬(播種後から幼穂形成期前まで)

○施工間隔 1.5m～3mおき

○施工方法 うねと交差もしくは斜め

(4) 雑草防除

- 一部の圃場では雑草発生が目立ちます。土入れによる雑草の耕種的防除を実施するとともに、雑草発生が多い圃場では、草種に応じ、散布遅れによる取りこぼしが無いよう、適期に除草剤の処理を実施してください。
- なお、ハーモニー75DF水和剤の散布適期はスズメノテッポウ5葉期まで、カズノコグサ1～3葉期までで、生育の進んだ雑草には効果が劣るので時期を逸しないように注意する。また、使用時期は「麦1葉期～節間伸長前まで」(小麦は穂ばらみ期まで)なので、ハーモニーを使用する際は麦の生育状況についても併せて留意ください。
- カラスノエンドウは麦の収穫時に混入する可能性が高いため、毎年発生している圃場や、すでに発生がみられる圃場では、アクチノール乳剤による防除を徹底してください。
- 本年は気温が高いため、雑草発生も多いです。特に、元草の多発生圃場などは今後も雑草の多発生が心配されます。土入れと併せて以下の除草剤活用により雑草抑制に努めましょう。
- 除草剤の効果を保つため天気予報を見ながら、降雨が予想される場合は除草剤の散布を避けてください。

除草剤散布後は、以下のことに注意しましょう

除草剤散布後に薬剤の影響で葉が黄色くなっている時に「麦踏み」を実施すると、麦へのダメージがさらに大きくなるため生育が回復するまで「麦踏み」は控えましょう。
 除草剤散布後すぐに「土入れ」を行うと、雑草の蒸散作用が抑制され、除草剤の雑草への効果が妨げられるため、散布後すぐの「土入れ」は控えましょう。(雑草が大きい場合は、散布してから土入れまでの期間を5～7日間は空ける)

- 農薬散布については、周辺作物にかからないよう注意して散布しましょう

表 生育期除草剤使用例

農薬名	薬量 (/10a)	希釈数量 (/10a)	使用方法	使用時期	備考
ハーモニー 75DF 水和剤	5～10g	100L	雑草茎葉散布	は種後～節間伸長前 (スズメノテッポウ5葉期まで) (カズノコグサ1～3葉期まで) <u>小麦のみ</u> は種後～穂ばらみ期まで 但し収穫45日前まで	1年生広葉雑草 スズメノテッポウ カズノコグサ タデ類
アクチノール 乳剤	100～200ml	70～100L	"	穂ばらみ期まで (雑草生育初期) (広葉発生揃い～6葉期, ヤエムグラ～4葉期)	1年生広葉雑草 カラスノエンドウ タデ類 イネ科雑草には効果無し
エコパート フロアブル	50～100ml	100L	"	節間伸長開始期まで (広葉2～4葉期) (ヤエムグラ2～6葉期) 収穫45日前	1年生広葉雑草 ヤエムグラ イネ科雑草には効果無し
バサグラン 液剤	100～200ml	70～100L	"	生育期(雑草3～6葉期) 小麦: 収穫45日前 大麦: 収穫90日前	1年生雑草 イネ科雑草には効果無し

ハーモニーを使用する際は周辺作物(特にタマネギ)への注意が必要。

(5) 鳥獣害対策(カモによる食害)

・川沿いの麦(特に裸麦や大麦)においてカモによる食害が確認されています。カモによる食害の症状は、麦の地際部まで草刈り機ではらったように切れており、そのような圃場では、麦の出穂・成熟期の遅れや生育量が不足し減収する可能性があります。

・カモ害の対策として、「のぼり」や「柵包紐」を使用した方法があります。

「のぼり」は、マルチの長さや支柱の高さが短かったり、10aあたりの「のぼり」の本数が少なすぎると効果が低減します。2.5~3mの黒色のマルチを2mの支柱につるした「のぼり」を10aあたり5本設置します。

「柵包紐」は圃場の周辺に写真4のようにピンと張って設置します。風により「柵包紐」が音を出すことでカモに警戒心を出させます。



写真3 カモによる食害



写真4 柵包紐を設置した圃場